

# 門真市水道事業基本計画の概要

(門真市水道ビジョン)

**か** 快適な水を

(安全かつ安心)



**ど** どこまでも、

(安定と持続)

**ま** 満足される水を

(給水サービスの向上)

**し** 市民のもとへ

(おいしい水・市民に開かれた水道)

平成 20 年 (2008年) 3 月

門真市水道局

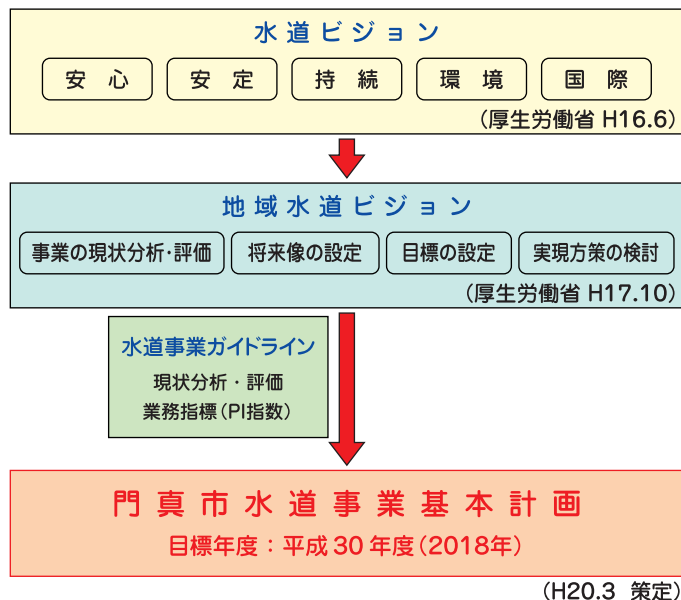
# 第1章 門真市水道ビジョン

## I. 門真市水道ビジョンの策定にあたって

将来にわたり、安全かつ快適な水を安定して供給し続けるとともに、災害時にもライフラインの確保のため、水道施設の耐震化や老朽化配水管の更新事業を計画的に推進するなど施設の水準を向上させることが本市水道事業の喫緊の課題です。

今後の本市水道事業の将来像である「門真市水道ビジョン」を策定し、基本方針による施策と喫緊の課題に対する取り組みを「門真市水道事業基本計画」にまとめ、市民の皆様へ水道局の事業運営を公表するものです。

### 《概念図》



## II. 現状分析と評価

門真市水道事業の現状を水道事業ガイドラインによる業務指標（PI指数）により算出した結果を、（社）日本水道協会より公表されている35事業体の平均値と比較・評価すると以下の課題が重要事項となります。

### 門真市水道事業の課題

- ◆老朽化配水管の更新、配水池の耐震対策が急務であるが、これら事業を実施しても健全な経営が持続可能な経営計画を検討する必要がある。
- ◆給水原価のうち、受水費がほぼ半分を占めており、今後もこれの削減は困難である。
- ◆お客さまへのサービスを充実させるために、情報提供とともに市民意見が反映できる体制の整備が必要である。
- ◆現在の経営状況を維持しつつ、さらに効率的な経営を目指す必要がある。

現状分析と評価により、将来像とする基本理念を定め、「中期水道施設整備計画」及び「財政計画と中期経営計画」を策定し、健全な経営を持続し、次世代へ継承できる水道事業を目指します。

### Ⅲ. 将来像の設定

## 門真市水道事業基本計画

目標年度：平成30年度（2018年）

### 門真市水道ビジョン

～ 基本理念～  
快適な水をどこまでも、  
満足される水を市民のもとへ

か：快適な水 = 安全かつ安心  
ど：どこまでも = 安定と持続  
ま：満足される水 = 給水サービスの向上  
し：市民のもとへ = おいしい水・市民に開かれた水道

### ～ 基本方針～

#### 基本方針1【安心】

◆安心して、おいしく飲める水道

#### 基本方針2【安定】

◆いつでも安定給水のできる水道

#### 基本方針3【持続】

◆効率的な事業運営のできる水道

#### 基本方針4【環境】

◆環境に配慮した水道

#### 基本方針5【国際】

◆国際対応のできる水道

### 中期水道施設整備計画

水道施設の耐震化対策  
老朽化配水管の更新事業

### 財政計画と中期経営計画

## Ⅳ. 基本方針と施策

### 基本方針1.【安心】安心して、おいしく飲める水道を目指します。

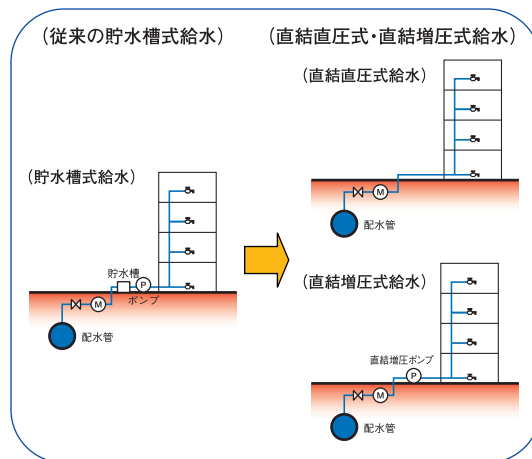
#### 【基本施策】

- (1)水質管理体制の強化
- (2)貯水槽水道の水質確保

今後も市民の皆さまに安全かつ安心な水道水をおいしく飲んでいただくために水質管理体制の強化に努めます。

また、貯水槽水道の水質確保のため、調査・指導を行うとともに、直結給水方式による給水範囲の拡大に努めます。

直結給水のイメージ図



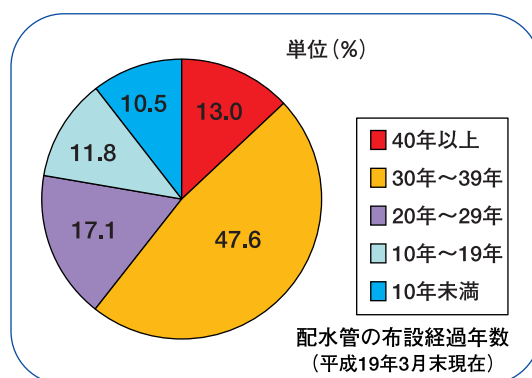
### 基本方針2.【安定】いつでも安定給水のできる水道を目指します。

#### 【基本施策】

- (1)水道施設の耐震化対策
- (2)老朽化配水管の更新対策
- (3)災害対策の充実
- (4)中央集中管理システムの更新

発生の危険性が指摘される東南海・南海地震等の大規模地震に備え、市民の飲料水を確保するために水道施設の耐震化対策と安定給水を確保するため、老朽化配水管の更新対策の推進に努めます。

10年後の老朽化配水管は全体の60.6%



### 基本方針3.【持続】効率的な事業運営のできる水道を目指します。

#### 【基本施策】

- (1)財政計画・経営計画策定
- (2)水道の広域化対策
- (3)上下水道事業の一体化
- (4)職員数の減少対策
- (5)有資格者の養成
- (6)徴収率の向上対策
- (7)入札制度対策
- (8)需要者サービスの向上対策

水道施設は、市民の生活や産業活動に欠かすことのできないライフラインであり、その経営に対する責任は重大です。次世代に良好な水道事業を持続して継承するため、上記8項目の取り組みに努めます。

基本方針 4. 【環境】環境に配慮した水道を目指します。

【基本施策】

- (1)省エネルギーの促進 (2)太陽光発電利用の促進
- (3)小水力発電の検討

水道事業は、飲料水とするまでの過程でポンプ等を使用しており、電気エネルギーを消費することにより環境への負荷があります。

今後は、環境に配慮した水道を目指し、大阪府営水道受水圧力の有効活用と太陽光発電システムの導入促進等、環境負荷の低減に取り組みます。

太陽電池



(大阪市柴島浄水場)

基本方針 5. 【国際】国際対応のできる水道を目指します。

【基本施策】

- (1)国際対応

日本の水道は、世界でもトップクラスにあり、政令都市など規模の大きな事業体では海外への技術支援及び海外の技術者に対する技術研修等が行われています。

本市においても、大阪府及び近隣各市と連携を図りながら対応していきます。



門真市水道施設概要図



(H20.3 現在)

## 第2章 中期水道施設整備計画

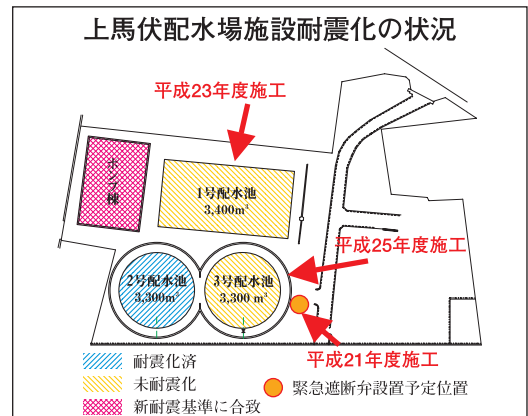
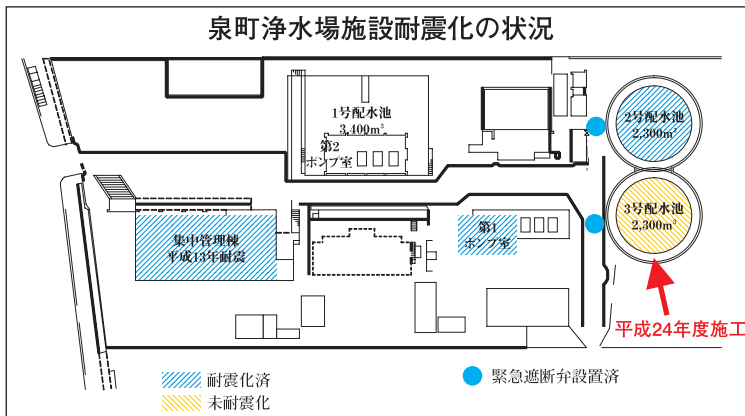
### I. 中期水道施設整備計画概要

大規模地震に備えて必要な飲料水を確保するために、配水池の耐震化や緊急遮断弁設置など施設の耐震化を図ります。

また多くの配水管が更新の時期を迎えており、計画的に老朽化配水管の更新と耐震化を図ります。

#### 主要な事業

1. 水道施設の耐震化対策（緊急遮断弁設置を含む）
2. 老朽化配水管の更新事業



#### 事業費の概要

水道施設の耐震化対策	老朽化配水管更新事業
◆実施年度：平成19年度～平成25年度	◆実施年度：平成20年度～平成30年度
◆総事業費：628,215千円 (国庫補助金を含む)	◆総事業費：2,183,734千円
	◆口径 φ 100～500mm 総延長 L=8,706m

## 第3章 財政計画・中期経営計画

### I. 財政計画・中期経営計画概要

平成30年度までの財政計画による累積利益は3,736,670千円となります。

これを中期経営計画では、平成19年度から計画的に耐震化対策事業、老朽化配水管更新事業の財源とすることにより、企業債、支払利息、企業債償還金が減額できます。今後とも経営の効率化・健全化に取り組み、安全かつ安心な水道水を安定的に持続して供給します。

未処分利益剰余金の処分 (単位:千円)	
項目	金額
1.水道施設の耐震化対策事業費	435,750
2.老朽化配水管更新事業費	2,183,734
3.減債積立金	550,000
4.建設改良積立金	550,000
5.未処分利益剰余金残高	17,186
合計	3,736,670

### II. 中期経営計画の検証

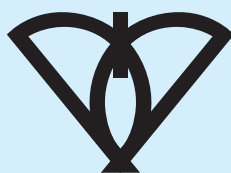
本計画は、社会経済情勢の激変時や概ね3か年を目途に、PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルによって評価・点検を行います。



(利き水会の様子)

## 門真市水道事業基本計画の概要

発行／平成20年3月



### お問い合わせ

#### 門真市水道局

〒571-0053 大阪府門真市泉町7番23号

TEL 06-6903-3131

FAX 06-4252-9750

E-mail: [kadoma-suido-q\\_and\\_a@citrus.ocn.ne.jp](mailto:kadoma-suido-q_and_a@citrus.ocn.ne.jp)

#### 門真市ホームページ

<http://www.city.kadoma.osaka.jp>